

平成 30 年 7 月 4 日

平成30年7月2日からの大雨による 出水の概要（速報版）

北海道開発局では、平成30年7月2日からの大雨による出水の概要（速報版）について、別紙のとおり取りまとめましたので、お知らせいたします。

平成30年7月2日からの大雨によって、石狩川（深川橋水位観測所）では、計画高水位を超えました。また、石狩川（納内水位観測所、伊納水位観測所）、雨竜川（多度志水位観測所、雨竜橋水位観測所）、留萌川（幌糠水位観測所）においては「はん濫危険水位」を超え、複数の河川において大きな出水となりました。

北海道開発局では、24時間体制で気象及び河川の情報を監視し、管理施設の操作を行いました。また、自治体にTEC-FORCE（リエゾン）を派遣し情報収集や自治体支援についての調整を行うとともに、災害対策車によるはん濫箇所等の排水作業を行うなど、自治体の支援を行いました。

詳細は、別紙を参照してください。

【問合せ先】	北海道開発局	建設部	河川計画課	電話(ダイヤル)	011-709-2110
		河川企画官	齋藤 大作	(内線)	5292)
		課長補佐	武田 淳史	(内線)	5294)

北海道開発局ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/>

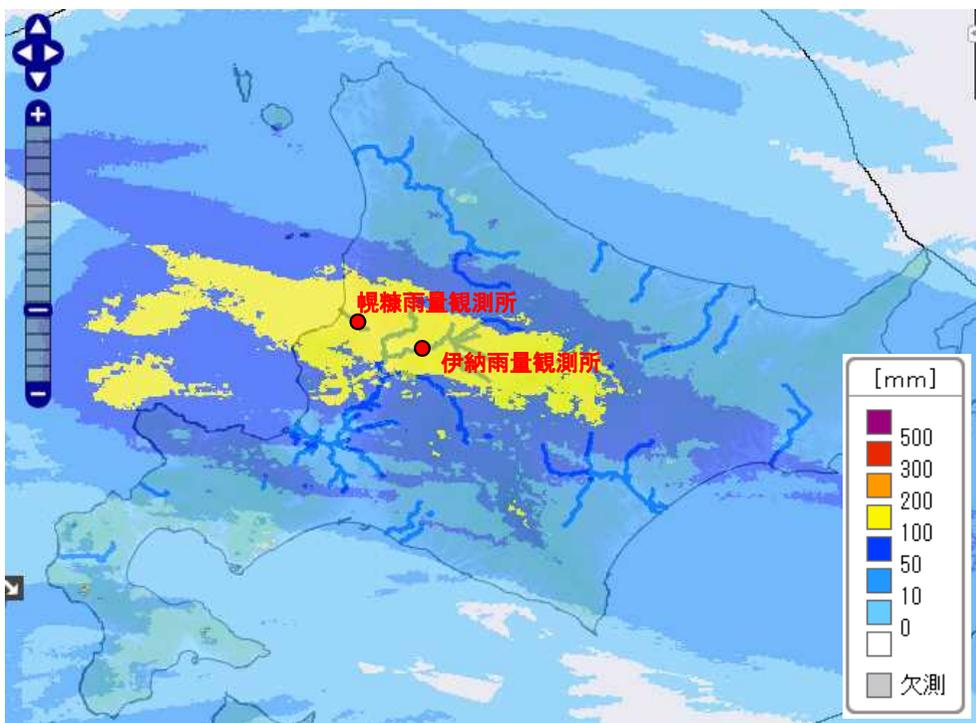


平成30年7月2日からの大雨による 出水の概要

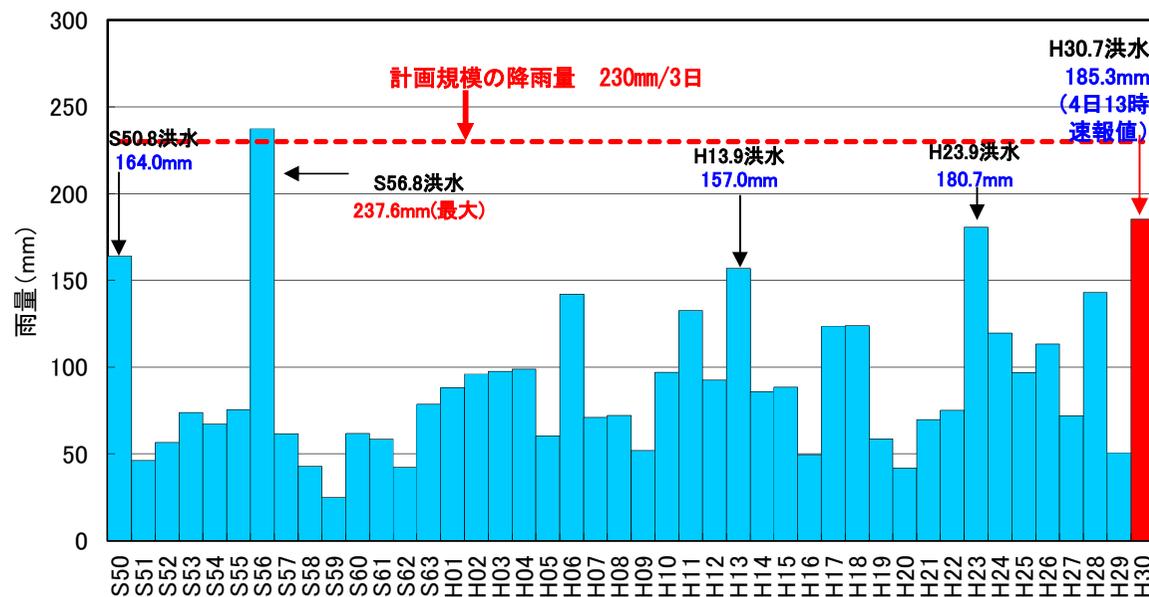
平成30年7月4日
北海道開発局 建設部 河川計画課

1. 降雨の概要

○7月2日から北海道付近に停滞する前線により、上川・空知・留萌管内を中心に大雨となり、河川のはん濫等が発生しました。石狩川の上流部の**伊納雨量観測所(国交省)**で163mm、留萌川の**幌糠雨量観測所(国交省)**で**178mm**を観測しました。



累加雨量
(7月2日0時から3日16時)



石狩川上流(伊納)における年最大流域平均雨量

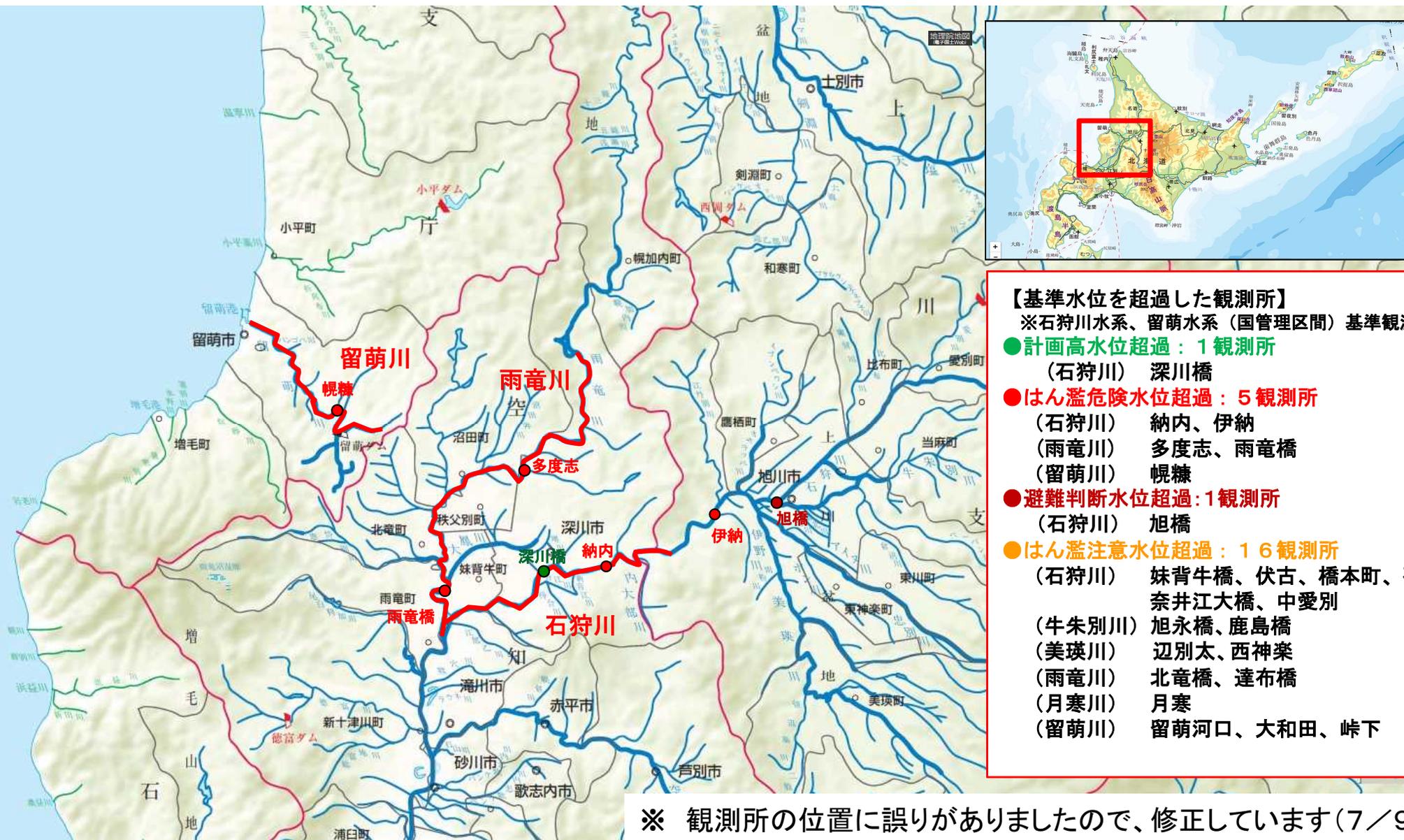
7月の日降水量の更新 (観測開始以降)

(アメダスによる速報値)

- ・留萌地方 小平町達布 118.5mm (1978-)
- ・上川地方 旭川市瑞穂 135.5mm (1985-)

2. 水位の状況

○平成30年7月2日からの大雨により、石狩川水系、留萌川水系のうち国管理区間の水位観測所では、**計画高水位超過1観測所、はん濫危険水位超過5観測所、避難判断水位超過1観測所、はん濫注意水位超過16観測所**を記録する出水となりました。



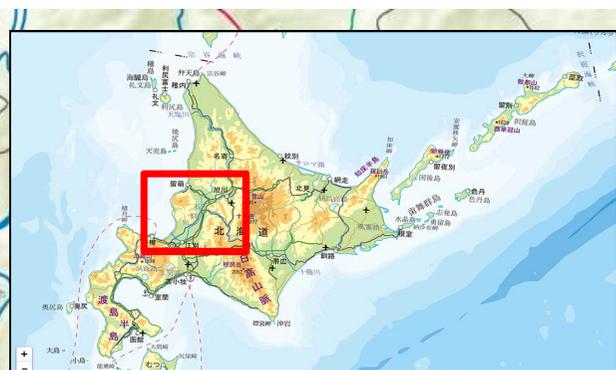
- 【基準水位を超過した観測所】**
 ※石狩川水系、留萌水系（国管理区間）基準観測所のみ
- **計画高水位超過：1観測所**
 (石狩川) 深川橋
 - **はん濫危険水位超過：5観測所**
 (石狩川) 納内、伊納
 (雨竜川) 多度志、雨竜橋
 (留萌川) 幌糠
 - **避難判断水位超過：1観測所**
 (石狩川) 旭橋
 - **はん濫注意水位超過：16観測所**
 (石狩川) 妹背牛橋、伏古、橋本町、砂川橋
 奈井江大橋、中愛別
 (牛朱別川) 旭永橋、鹿島橋
 (美瑛川) 辺別太、西神楽
 (雨竜川) 北竜橋、達布橋
 (月寒川) 月寒
 (留萌川) 留萌河口、大和田、峠下

※ 観測所の位置に誤りがありましたので、修正しています(7/9)

3. 大雨による浸水等の被害状況

○平成30年7月2日からの大雨により、石狩川の深川市音江町付近及び旭川市神居町において約70haの浸水と家屋4戸（深川市3戸、旭川市1戸）、旭川市永山地区等において約6.1haの浸水被害が発生しました。また、雨竜川の深川市多度志付近及び沼田町共成付近において約40ha、留萌川の峠下付近で約1haの浸水が発生しました。（開発局調べ）

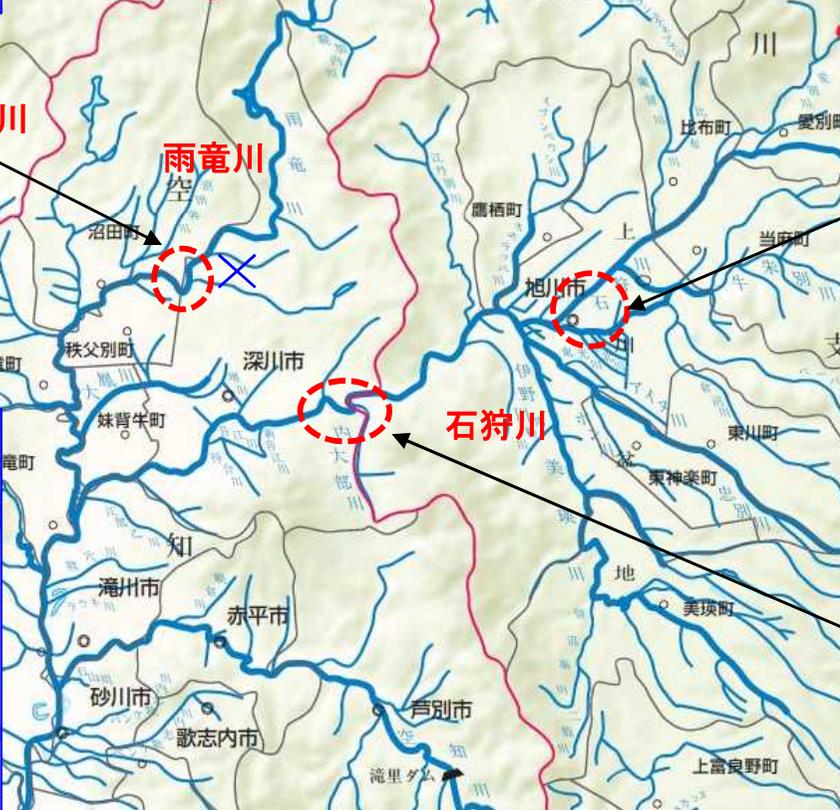
雨竜川沼田町共成



旭川市永山地区



留萌川峠下地区



旭川市神居町



平成30年7月3日13時頃撮影



4. 北海道開発局の対応状況

- 北海道開発局では、**24時間体制で気象及び河川の情報**を監視し、管理施設の操作を行いました。現地においては地上からの河川巡視に加え、ドローンによる上空からの調査を行いました。
- 被災した自治体への支援や情報収集を目的として、**TEC-FORCE(リエゾン)**を沼田町など3市3町および留萌振興局にのべ**25人・日**派遣。
- また、被災箇所の応急対策のため、**TEC-FORCE**を妹背牛町など3市2町にのべ**13人・日**派遣。加えて、排水支援のため、**排水ポンプ車8台**を派遣(うち5台は撤収済)

※7月4日12時時点



河川巡視



沼田町へのTEC-FORCE(リエゾン)派遣



災害協定業者による排水活動



災害協定業者による現地ドローン調査



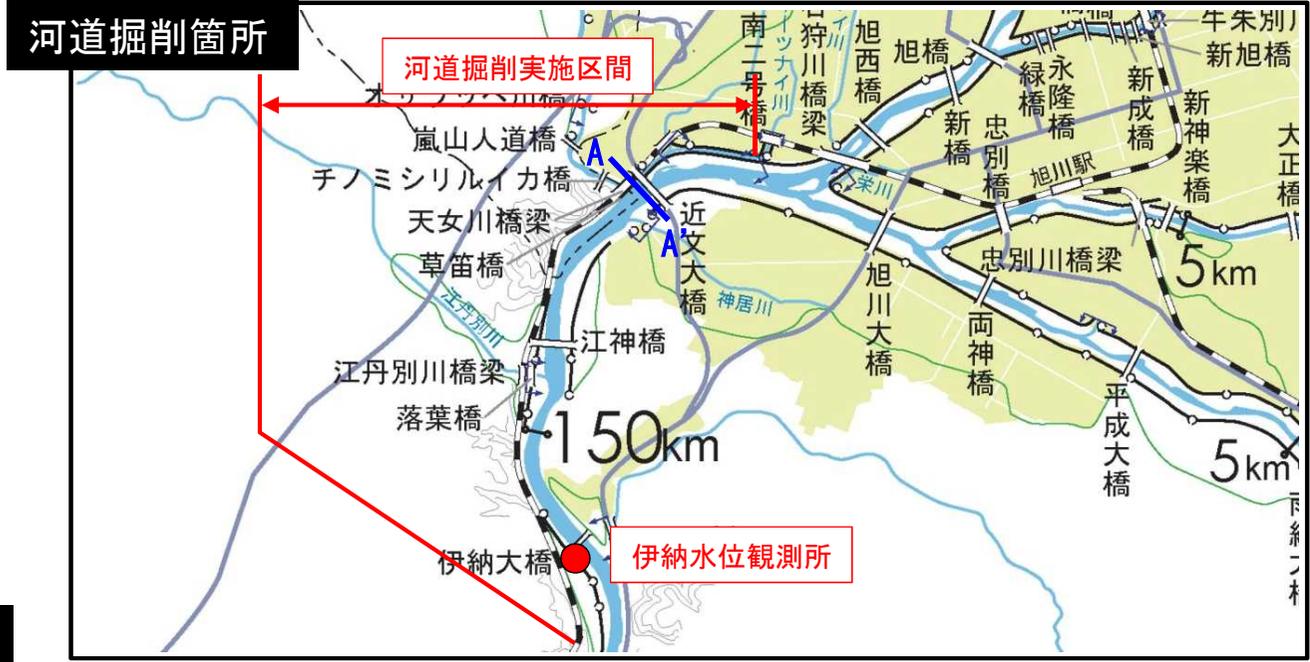
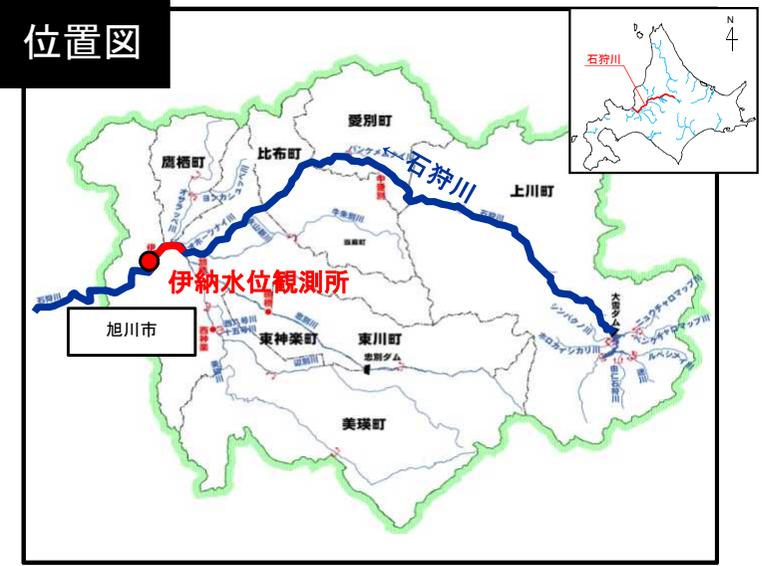
妹背牛町へのTEC-FORCE(リエゾン)派遣



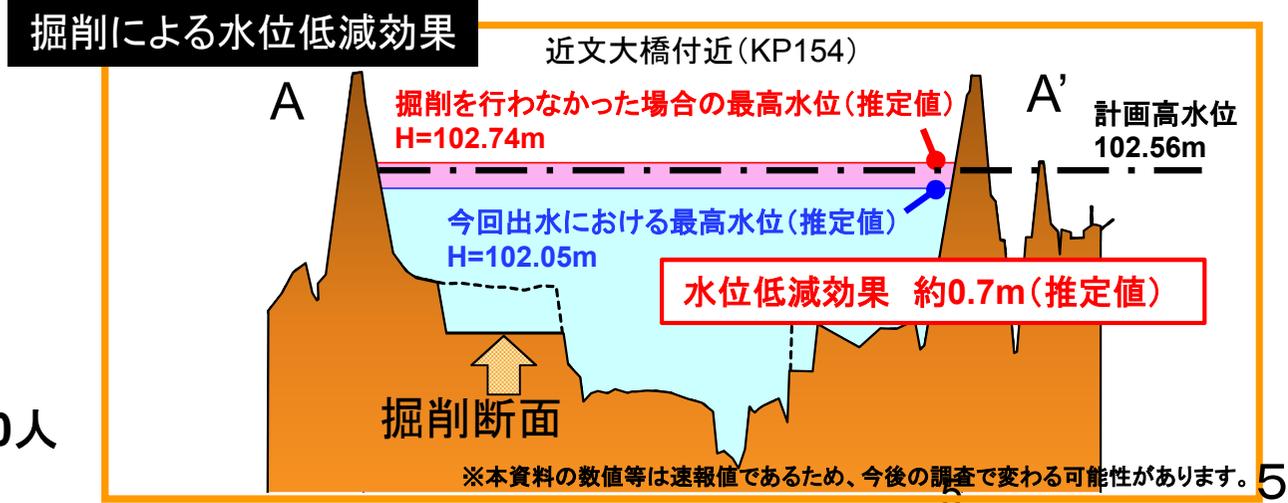
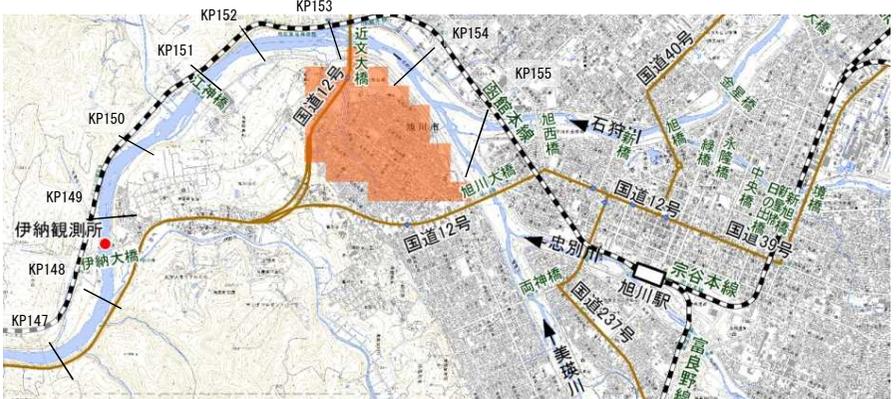
排水ポンプ車による排水作業

5. 治水事業の効果① 河道掘削が効果を発揮(北海道 石狩川 近文大橋地点)(国管理)

○石狩川上流忠和地区では、旭川市街地における洪水被害の防止・軽減を目的に河道掘削を順次進めています。
 ○平成30年7月2日からの大雨による洪水では、河道掘削により、石狩川(近文大橋地点)で約0.7mの水位低減効果があったと想定されます。仮に、河道掘削が実施されず、もし堤防が決壊した場合は約200haが浸水したと想定されます。

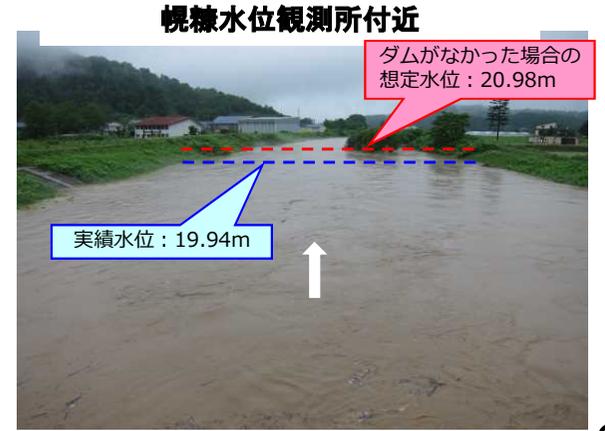
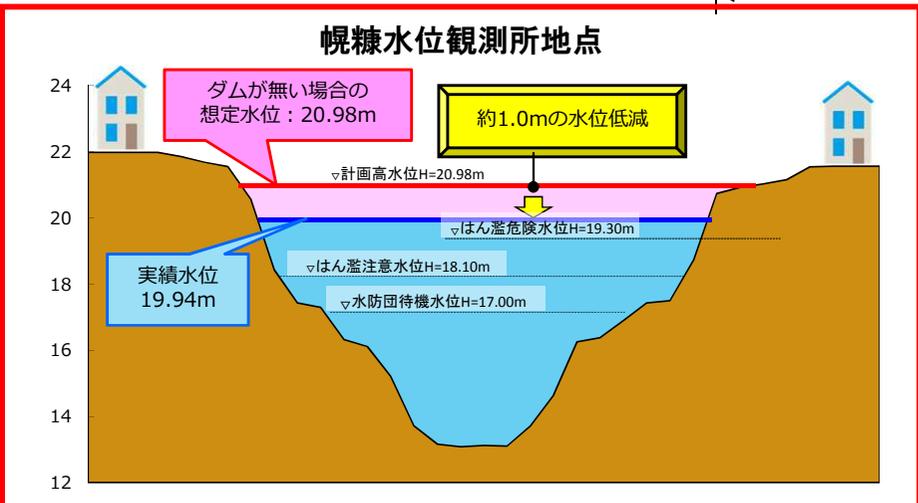
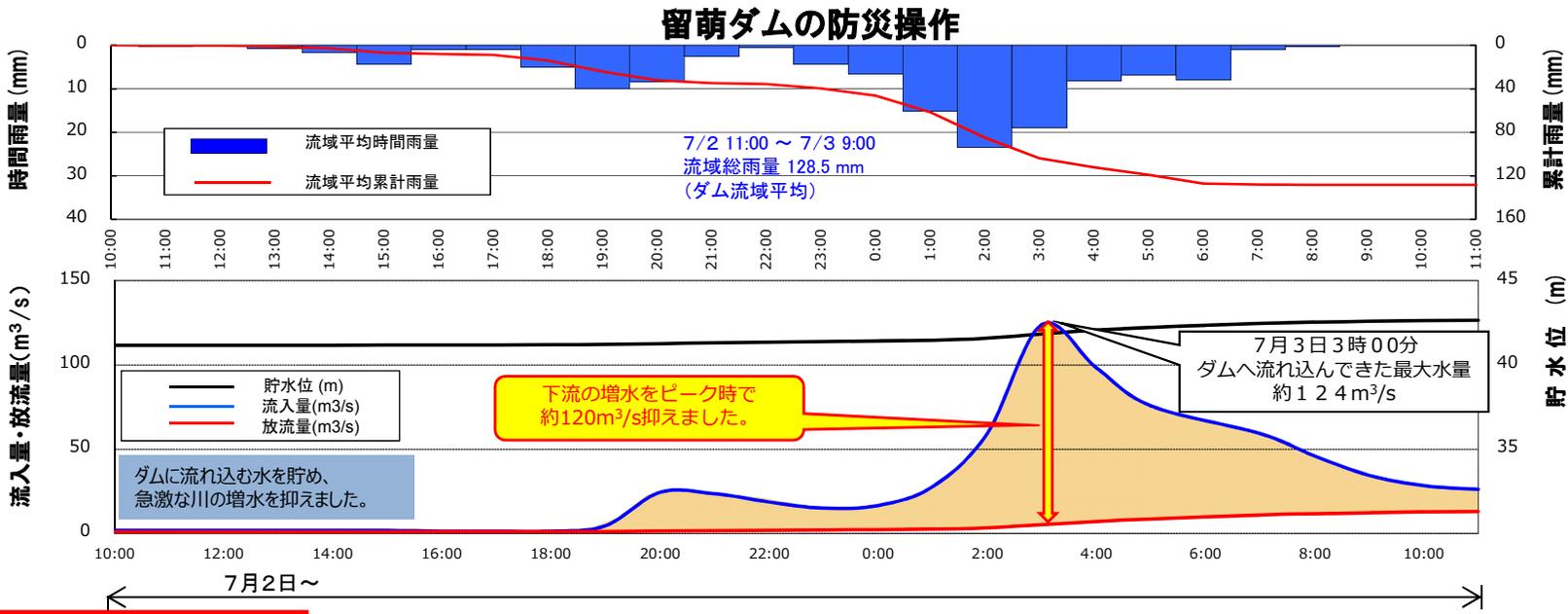
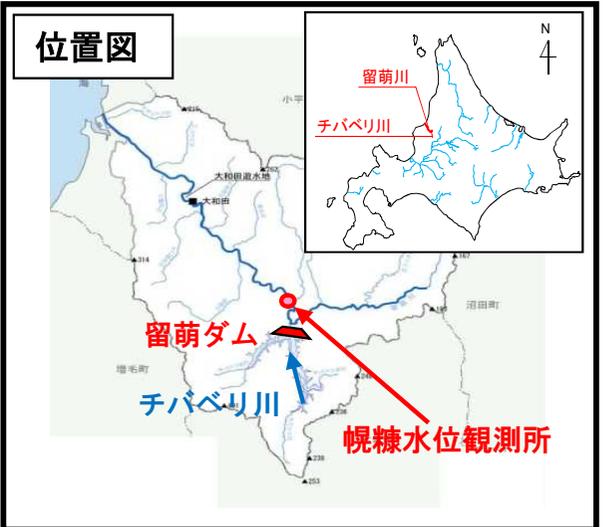


河道掘削を実施しなかった場合に想定される被害



5. 治水事業の効果② ダム整備が効果を発揮 (北海道 留萌ダム) (国管理) 国土交通省

- 平成30年7月2日からの大^{るもい}雨による出水により、留萌ダムにおいては、洪水量を超える流入量を観測。
- 留萌ダムの洪水調節等によって下流河川の水^{るもい}位低減を図り、下流の留萌市（幌糠^{ほろぬか}観測地点）では、約1.0mの水^{るもい}位低減効果があったと想定されます。仮にダムが無い場合、下流の藤山地区において、面積21ha、家屋6戸が浸水したと想定されます。



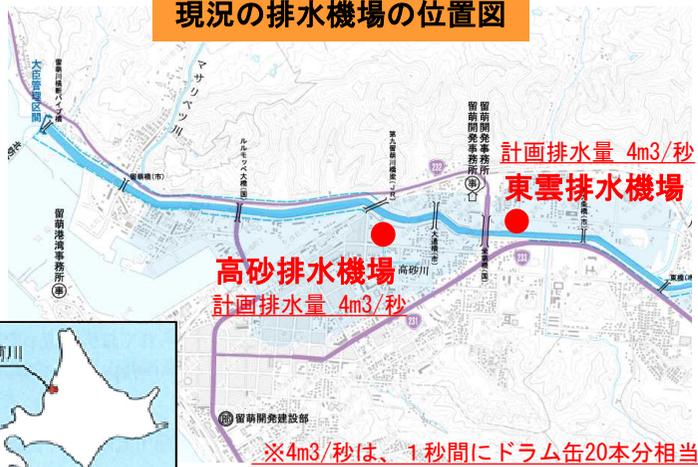
※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。6

5. 治水事業の効果③ 排水機場の効果を発揮（北海道 留萌川）（国管理） 国土交通省

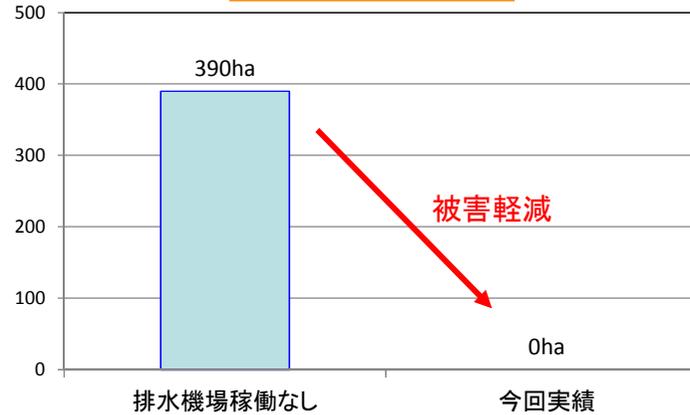
- 留萌川では、昭和56年8月洪水及び昭和63年8月洪水により留萌市街地での内水氾濫被害を受け、高砂排水機場（昭和61年完成）、東雲排水機場（平成13年完成）を整備しました。
- 平成30年7月3日の出水により、高砂排水機場が約7時間稼働、東雲排水機場が約13時間稼働し、2機場合わせて約20万m³の内水排除を実施、仮に排水機場が無い場合、約390haの市街地が浸水したと想定されます。

※本数値は、速報値であるため変更となる可能性があります。

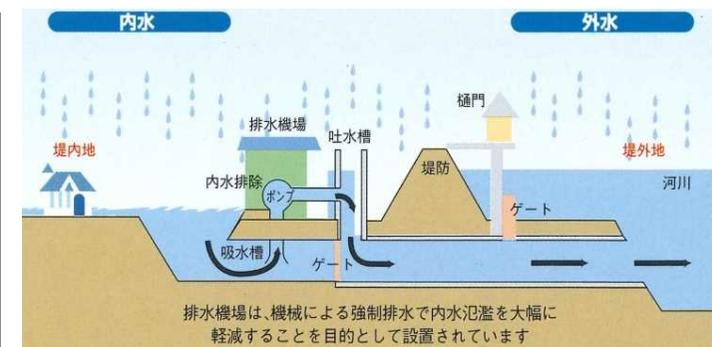
現況の排水機場の位置図



浸水想定面積 (ha)



排水機場の概要



高砂排水機場が無かった場合の浸水想定範囲



東雲排水機場が無かった場合の浸水想定範囲

